

「読むこと・  
書くこと・  
行うこと」  
～教育の基本理念実現のための実践～



教育随想

長野県佐久市長 柳田 清二 氏

佐久市は長野県の東部に位置し、県下四つの平のひとつである佐久平にあって、北に浅間山、南に八ヶ岳連峰を望み、千曲川が南北に貫流する自然環境に恵まれた高原都市です。岡崎市と当市の縁は、「奥殿藩主松平 乗謨 公(後の大給 恒 公)」が本拠地を「三河」の地から「信州佐久郡」へ移し、田野口藩と藩名を替えた時代に始まりました。現代においては、昭和五十八年の岡崎市と旧田口町(現 佐久市)との「ゆかりのまち」提携に引き継がれています。大給 恒 公の数々の功績の中で、歴史の専門家は三大偉業として次の三点に注目しています。

① 函館に続く国内二か所目の星形稜堡「龍岡城(五稜郭)」の築城  
② 博愛社(現 日本赤十字社)の設立  
③ 明治新政府における勳章制度の創設

この大給 恒 公を、当市では「佐久の先人」の一人に数えて紹介しておりますが、昨年から「佐久市大給 恒 顕彰委員会」を立ち上げ、有識者による検討を重ねてきております。こうした取り組みは、佐久に暮らす私たち、また、国にとっても欠くことのできない役割を果たされた佐久市ゆかりの先達の想いや功績に接し、市民が感謝の念を新たにしながら佐久の風土への愛着を深めて欲しいと願うことです。「先人教育」として学校はもちろん社会全体で学習会の提供に努めています。

このプランは、同氏が唱えられた「読むこと・書くこと・行うこと」が自分の花を咲かせるための根っこになるとし、その花を市花コスモスになぞらえて家庭、学校、地域での実践を呼び掛けるものです。これは本年度策定予定の「第三次佐久市子ども読書活動推進計画」の中にも位置付けております。本市教育大綱では、基本理念として「生涯にわたり主体的・創造的に学び、生きる力を育む人づくり、まちづくり」を掲げていますが、その具現のための大事な実践として、同プランのさらなる普及を図っていきたいと考えております。

昨年十月、令和元年東日本台風により当市も甚大な被害を受けました。貴市からは人的・物的支援を被災直後より現在に至るまで切れ目なく賜っておりますことに感謝し、内田市長はじめ岡崎市民に対し、この場をお借りし、衷心より御礼申し上げます。

今後の両市の発展と友好をご祈念申し上げます。



龍岡城跡(五稜郭)「現 田口小学校」

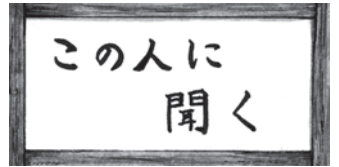
(やなぎだ せいじ)



令和2年9月1日  
9月号  
発行・編集  
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想…………… 1  
長野県佐久市長  
柳田 清二 氏  
この人に聞く…………… 2  
認知症高齢者が働く「ちばる食堂」店長  
市川 貴章 氏  
羅 針 盤 …………… 2  
特別活動指導員 村山 吉弘  
ふれあい…………… 3  
六ツ美中学校 教諭 飯見 仁  
特 集…………… 4  
自然と共に生きる  
お知らせ…………… 6  
フォト・ヒストリー… 8  
第1回卒園式(大正12年)  
この本を…………… 8



生きがいをつくること

認知症高齢者が働く「ちばる食堂」店長

市川 貴章氏

専門学校で、介護福祉士と調理師免許を取得。卒業後、十七年間、介護福祉士として働く。昨年四月、久後崎町に「ちばる食堂」をオープンする。「ちばる」とは、沖縄の方言で、「頑張る」という意味。この店の大きな特徴は、働き手がすべて認知症の方であるという点である。「高齢化社会を笑顔でデザインする」会社の代表も務める。

なぜ、「ちばる食堂」を開いたのですか

介護福祉士として働いているうちに、おじいちゃん、おばあちゃんを幸せにしたいという思いが募っていききました。数年前、東京にある『注文をまちがえる料理店』が特集されたテレビ番組を見て、認知症高齢者にも働くという選択肢があることを知りました。認知症になっても働くことにより、孤独になることなく、

社会とつながりをもち続けることで生きがいができるだろうと思いました。また、お客様にとっても、認知症の方との接し方を知る機会になると考え、店を開きました。

店の運営に、介護福祉士の経験を、生かしていることがありますか

介護の現場で働いているときに、いけばん気を付けていたことは、手を貸しすぎないことです。以前、おばあちゃんが、お客様の注文を聞き間違えたことがありました。注文内容が分からなかったので、おばあちゃんにその旨を伝え、もう一度確認してもらいました。二度目は、きちんと聞くことができました。すぐに手を貸すと、自分でできるチャンスがなくしてしまいます。だから、できなかり任せようとしています。どこまでを任せてよいのか、そのような距離感を測ることは、介護福祉士の経験が生きていると思います。

「ちばる食堂」をオープンして、うれしいことは何ですか

認知症の方と一緒に働けることは奇跡的なことなので、毎日が楽しいです。最近、おじいちゃんが、お客様を喜ばせたいと、袋にメッセージを書いたおしぼりを配っています。お客様が、そのおしぼりを大切に使用している姿を見て、温かい気持ちになります。お客様と、認知症の方が交流する姿は、ずっと見たかった光景でした。生き生きとした笑顔で働いているところを見られるだけ

で、幸せな気持ちになります。おじいちゃん、おばあちゃんは、いろいろなことを忘れるけれど、「ちばる食堂」で働くことだけは絶対に覚えていきます。生きがいになっているのだと実感します。家族の方も、会話が aumentata と喜んでいきます。お客様も、間違いがあってもにこやかに指摘してくれます。「ちばる食堂」に関わるすべての方が幸せを感じていることを、本当にうれしく思います。

岡崎の子供たちに向けて、メッセージをお願いします

以前、自分のお店を企画運営したという地域の子供たちの思いに込め、「ちばる食堂」を会場に、イベントを行いました。その時、子供は、注文を間違えることがあっても、笑顔で一生懸命に働くおばあちゃんの姿を見て、いつのまにか認知症を一つの個性として捉えるようになりました。認知症は、高齢者の方には、いつでも誰でも起こる可能性があります。子供たちには、普段の生活で認知症の方とのふれあいを体験し、何かを感じてほしいと思います。そして、相手の立場になって、何をすべきか考えられる人になってほしいと願っています。



氏名 いちかわ たかひこ  
生年月日 昭和五十六年  
五月二十一日  
住所 岡崎市巾島町



未来を切り拓く「キャリア教育」

特別活動指導員 村山 吉弘

学習指導要領改訂で、小学校、中学校とともに、特別活動が「キャリア教育」の要としての役割を担うことが示された。「自分らしさ」や「なりたい自分」について考え、話し合い、意思決定をするためには、子供一人一人が、題材を自分の問題と捉え、未来に希望を抱くことができるようにすることが重要である。

A 中学校のB教諭は、「新たに生まれる職業」について考えることを通して、生徒が社会の変化と自分の将来を考える機会を設定した。

B教諭は、授業の導入で、まず「六十五％」という数字を提示した。生徒たちは、これが「現在まだ存在しない職業に将来就くであろう人の割合」の予測値であると知る。その瞬間、教室の中は、「ええっ」「本当に」とざわざわした空気に包まれた。次に、電話交換手などのなくなりつつある職業、ユーチューバーや退職代行サービスなどの近年登場した職



願

六ツ美中学校

教諭 飯見 仁

私には教師として常に意識していることがある。それは、生徒の頑張りに気付き、支えることである。生徒は、教師の想像をはるかに越えて頑張っていることがある。それに気付き、時には握手で、時には手紙で頑張りを認め、最後に教師の願いを添える。それは次の目標にもなる。その願いを届けるには、まずは生徒の心の扉を開かなければならない。教師の願いと生徒の思いが共有されると、生徒は目標に向かってさらに頑張ることができる。考える。

Aは、入学当初から、時として我慢がきかないことがあった。理想が高く、それに向かって進むとうとする気持ちからなのだが、思いを上手に表現できず、周りとの協同に苦勞し、前向きになれないことも多かった。そんなAと、学年主任・陸上部顧問

として、三年間向き合ってきた。「負けず嫌いは絶対に強くなる。必ず駅伝部のエースになれる。そして、学年のリーダーにもなれる。」

一年生、駅伝部の練習。上級生に対して、少しでも近づきたいと必死に走るAの気概に心を打たれた。私は、Aにその声をかけた。その後、Aは黙々と練習に取り組み、より粘りを見せるようになった。また、部活動が軌道に乗ってくると、他の事にも素直に挑戦し始めた。一年の後期には級長になった。ところが、うまくいかないこともある。級長会の話し合いでは、周りに考えが受け入れられないことも多かった。すると、決まって椅子に浅く腰掛け、表情があからさまに曇っていく。話し合い後、一人で廊下を進むAに、私は歩み寄った。

「荒れとるなあ。まあ大丈夫だ。Aなら、明日はきっと大丈夫だ。」

目を合わせることはせず、独り言のようにただ呟いた。駅伝部での張りから、Aは、きつと乗り越えてくれると信じていた。

変化はすぐに表れた。次の日から、Aは冗談を交えながら話し、意見を言いやすい雰囲気づくりに努めた。他の級長と友好的に関わり、学年レクを成功させたことで、Aは大きな達成感を得たと感じた。

二年生、冬。Aは駅伝部員として着実に力を伸ばした。大会では優勝に大きく貢献した。閉会式では精悍な表情で胸を張った。

この頃からAは、学校の先生方に、「来年、全国大会に行きます。」

自分の目標を言葉にするようになった。駅伝部や学年の仲間を支えられながら成長したAを感じた。

三年生、春。新型コロナウイルスの影響を受け、学校生活もすべて止まった。その中でもAは、仲間を声を掛け、六ツ美の田園地帯を自主的に走り続けていた。全国大会の中止が発表された日、その情報をつかみながらも走り続けるAに、声を掛けた。「全中、なくなつたな。」

「はい。でも、まだ駅伝の全国大会はあるかもしれません。」

Aのその前向きな姿をうれしく思いながら、それ以上に、目標を失い、逆境に立たされても、ひたむきに取り組むAの、一回りも二回りも成長した姿に大きな喜びを感じている。



業が例示されることで、時代とともに職業の種類も変化することに気付いた。

その後、生徒たちは、今後新しく生まれる職業を予想し始めた。「パソコン大工」「VR旅行会社」「ほめ屋」など、子供の発想は実に豊かだ。学級に漂う空気が「悲壮感」から「わくわく感」に変わっていく。しかし、この「わくわく感」は、まだ自分の問題にはなっていない。興味本位からだけの「わくわく感」である。

そうした生徒の姿を捉え、B教諭は「新しい職業に私たちは何を求めるか」と発問した。「便利さ」に意見が集中したとき、B教諭が、「それで未来は明るいのか、あなたは就きたい職業があるのか」と問い返す。そこから生徒たちの思考は深まってくる。B教諭は、さらに意図的指名により「未来は自分の手で変えられるから明るくできる」という意見を引き出した。この「自分の」という言葉から、生徒は「わくわく感」を自分のものにする事ができた。社会の変化と関わりながらよりよく生きようとする生徒が考える授業となり、キャリア教育の本質に迫る授業となった。

数年後の未来さえ予測困難な時代であるが、キャリア教育によって夢や希望をもった子供たちであれば、自分の意思で未来を切り拓いていくことができる。確信している。

# 自然と共に生きる

## ～岡崎市の野生生物の現状とこれから～

近年、岡崎市の住宅地や街中でも、サルやイノシシの出没情報を聞く。農作物への被害も多い。学校においても、子供たちの育てた野菜が食べられたり、校庭を荒らされたりしている。

農業を営む人々にとって獣害は大きな問題である。被害を防ぐため、野生生物を捕えるための檻や、畑に入らせないようにする柵を設置するなど、様々な取り組みをしている。また捕えた野生生物をジビエとして活用する動きもある。学校の中には、野生生物の実態を理解したうえで、被害をどう食い止めるか思考し、できることを実行するなど、学びを深め、「共生」について考えているところもある。

持続可能な開発目標を掲げるSDGsでも、「共生」は、大きなキーワードである。将来を担う子供たちが「自然と共に生きる」ことに、真剣に向き合い、行動するために、私たちも多くの視点をもって考えなくてはならない。



### 野生生物の現状

#### 学区で見られた主な野生生物



▲侵入を防ぐフェンスの近くまで現れたシカ (下山小)

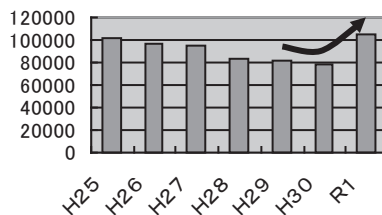


▲学区の県道に出没したアライグマ (河合中)



#### 被害状況

岡崎市鳥獣害被害額(単位:千円)



▲防護柵で守られた学校畑 (夏山小)

# 防

## 市の取り組み例

### 元下山小学校長 平木教男さんの話

私が狩猟免許を取ったのは、自分も含めて、獣害により困っている人たちがたくさんいるということが分かったからです。

稲刈りが早くなったため収穫後の田には「ひこばえ」が生え、獣たちにとって格好の餌となる米が実ります。また、耕作放棄地はミミズやサワガニが繁殖しやすく、イノシシの絶好のすみかになります。このように、「農業のやり方が変わったこと」が有害鳥獣の増えた一番の原因だと思います。

共生は微妙なバランスで成り立っています。人が、よくしようと自ら手を入れたことで、バランスを崩すこともあります。

子供たちには、今まで関係を意識していなかった生き物同士が実はつながっているという事実に気付くことで、視野を広げていってほしいと思います。



▲ICTを活用した大型捕獲檻



▲行動域を把握するためのGPS首輪

### 岡崎市役所 農務課職員さんの話

岡崎市では額田地区でイノシシ、シカ、サルによる被害が多く、被害額は令和元年度1億円を超えています。特にシカによる林業被害が増えている、深刻です。市では平成23年度より、侵入防止柵の設置をしました。この柵により、田畑への被害は減りました。さらに猟友会に依頼し、有害鳥獣の捕獲を行っています。

農地が荒れると、イノシシがすみやすい環境になります。人が自分でその環境を作ってしまった面もあります。被害を防ぐために、鳥獣の生態や、対応策などの情報をより多くの人に伝えたいと思います。

# 学ぶ

イノシシやサルの数を減らすだけではなく、農作物を育てている人で対策し、同じ町で共存できるような関わり方をしていくべきだと思う。

(新香山中1年生 授業後の感想)



▲イノシシの被害と先人の苦勞を学ぶ猪垣積み体験(宮崎小)



▲学区収穫祭で、獣害について発表する5年生(恵田小)

▶ 獣害について考える総合学習(新香山中)



これ以上被害が増えると大変なので、どちらにとってもよい方法はないのか考えていきたい。

(恵田小5年生 発表後の感想)



◀ 野生生物について学ぶ「命の授業」(翔南中)

▶ カラスからツバメを守るためのかかし作り(生平小)



▲人間のにおいを残し、イノシシを避けるハンモックづくり(秦梨小)

# 生かす

### レストラン店長 大河内 徹さん

ジビエ料理は好きか嫌いか、はっきりと分かれず。好きな人には、喜んでもらっています。

今まで日本の場合、駆除するだけで、食肉にまわす機会が多くありませんでした。駆除するということは、殺す、つまり命をいただくということです。命を無駄にはいけないという思いで、ジビエ料理を提供しています。駆除された命も、食材として生かすことで経済を活性化していきたいですね。



### 三州マタギ屋代表 日浅 一(はじめ)さん

イノシシによる畑への被害が増え、行政からの依頼で狩猟を行っています。命をいただくなら一片の肉も残してはいけなくと考へ、有効に活用するために処理施設を整備して、イノシシ肉・シカ肉の販売を始めました。

私たちの狩猟は攻撃の獣ではありません。被害があるから行うのです。

私たちも自然の一部。自然とともにできるだけ長く生きていけることを願っています。今の子供たちには、私たちの経験、技術を参考にして、自分たちの問題として、共生について考えていってほしいです。



◀ 児童のイノシシの解体体験に付添う日浅氏



●教員免許状更新講習

岡崎市で開催するようになり、十一年目を迎えた。今年度は、一九一名の受講者が熱心に講習に取り組んだ。今年度は、七月二十三日(木)・二十四日(金)に必修・選択必修講習が行われた。例年使用している総合学習センターが改修工事のため、今年度は、岡崎コンファレンスセンターを会場に行われた。さらに、七月二十一日(火)・二十二日(水)・三十日(木)・三十一日(金)・八月四日(火)・五日(水)にかけ、各会場において選択講習が行われた。

新学習指導要領の全面実施に伴い、どの講習も、その趣旨の理論部分や実践部分について、中身の濃い講義や実習・演習が行われた。



▲必修講習の様子



▲小学校理科教育の様子

●必修講習 7月23日(木)・選択必修講習 7月24日(金)

	講習名	講師名	会場
必修 選択 必修	A：国の教育政策や世界の教育の動向	山口 明則	岡崎コンファレンスセンター 大隅ホール・中会議室・小会議室
	B：子どもの発達や生活の変化を踏まえた課題	永田 勲	
	C：学習指導要領の改訂の動向等	三浦 敦子	
	D：学校における危機管理上の課題	田中 俊二	

●選択講習Ⅰ 7月30日(木)・7月31日(金)

番	講習名	講師名	会場
①	小学校国語科教育	鈴木紀予子	勤労文化センター 第1・第2集会室
②	中学校社会科教育	竹平 真仁	勤労文化センター 第2研修室
③	小学校算数科教育	平 任代	岡崎コンファレンスセンター 中会議室 竜美丘会館 501号室
④	中学校理科教育	山元 嘉与	岡崎コンファレンスセンター 小会議室 竜美丘会館 302号室
⑤	小学校音楽科教育	寺島 真澄	細川小学校 音楽室他
⑥	小学校図画工作科教育	高橋 誠	常磐中学校 美術室他
⑦	小学校体育科教育	浅井 真人	葵中学校 体育館他
⑧	中学校技術科教育	夏目 弘之	甲山中学校 金工室他
⑨	中学校英語科教育	石川 敏幸	竜美丘会館 301号室 岡崎市民会館 集会室・会議室
⑩	健康教育(と食育)	柴田 和美	岡崎市民会館 リハーサル室第1号室

●選択講習Ⅱ 8月4日(火)・8月5日(水)

番	講習名	講師名	会場
⑪	中学校国語科教育	丹羽 郁人	勤労文化センター 第2研修室
⑫	小学校社会科教育	尾崎 智佳	東部市民センター 体育集会室 東部市民センター 第1・第2講習室
⑬	中学校数学科教育	佐橋 康仁	勤労文化センター 第1研修室
⑭	小学校理科教育	犬塚 健一	岡崎市民会館 集会室・大会議室 東部地域交流センター 第3活動室A・B
⑮	中学校音楽科教育	細井 鶴貴	竜海中学校 第2音楽室他
⑯	中学校美術科教育	長谷川勝一	本宿小学校 図工室他
⑰	中学校保健体育科教育	今枝 武司	東海中学校 体育館他
⑱	小・中学校家庭科教育	小田喜代美	小豆坂小学校 家庭科室他
⑲	小学校外国語活動	都筑 香理	岡崎市民会館 リハーサル室第2号室
⑳	命の教育	榊原万由美	勤労文化センター 第1・第2集会室
㉑	幼児教育	鈴木 晴美	岡崎市民会館 リハーサル室第1号室

●選択講習Ⅲ 7月21日(火)・7月22日(水)

番	講習名	講師名	会場
㉒	特別の教科 道徳	坂元 千城	岡崎コンファレンスセンター 小会議室
㉓	特別活動・学級経営	神谷 明良	勤労文化センター 第1研修室 竜美丘会館 301号室
㉔	生活科・総合的な学習	倉地 耕治	勤労文化センター 第2研修室 竜美丘会館 302号室
㉕	情報教育	川本 祐二	男川小学校 パソコン室他
㉖	発達障がい児の理解と支援	河合由起子	岡崎コンファレンスセンター 大隅ホール
㉗	生徒指導	伊澤 勉	岡崎コンファレンスセンター 中会議室

【お詫びと訂正】

八月号に誤りがありました。

お詫びして訂正します。

◆地名の由来に思いを馳せて

「読み方が難しいと思われる町名」

⑱ 牧御堂(まきみどう)

【六ツ美北部】

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	平日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～17:00
4	あいちこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

## 第73回 岡崎市中学校市長杯総合体育大会

●団体結果

種目	性	優勝	2位	3位	
陸上競技	男	北	六美北	六ツ美	
	女	六美北	矢作北	竜海	
バスケットボール	男	葵	翔南	矢作甲山	
	女	美川	福岡	北六美北	
バレーボール	男	優勝(4校)矢作・北・矢作北・六ツ美(組み合わせ番号順)			
	女	優勝(4校)矢作・竜海・六ツ美・矢作北(組み合わせ番号順)			
ソフトテニス	男	矢作	東海	河合城北	
	女	矢作	矢作北	葵竜海	
卓球	男	矢作北	竜海	翔南矢作	
	女	新香山	南	北翔南	
剣道	男	葵	六美北	常磐竜海	
	女	矢作	福岡	六美北額田	
ハンドボール	男	竜南	葵	美川	
軟式野球	男	竜海	翔南	矢作美川	
ソフトボール	女	城北	矢作北	甲山北	
柔道	男	矢作	葵	甲山矢作北	
	女	矢作	竜南	矢作北甲山	
サッカー	男	葵	竜南	南翔南	
水泳	男	北	矢作	城北	
	女	竜海	矢作	六美北	



●陸上競技(個人成績・1位のみ)

性	種目	氏名	校名	記録
男子	100m	嶺田翔栄	北	11"76
	200m	永井悠翔	北	24"00
	400m	宇佐美佑一郎	竜南	57"29
	800m	杉田晃大	竜海	2'01"96
	1500m	犬塚陸斗	矢作	4'26"80
	3000m	相地一夢	六美北	新 9'03"44
	110mH	森川湊	北	15"94
	4×100mR	森川・嶺田・高木・岩瀬	北	45"21
	走高跳	高木魁里	北	1m80
	棒高跳	時原仁	六美北	3m60
女子	走幅跳	岩瀬颯汰	北	6m01
	砲丸投	松田流輝	福岡	新 13m20
	100m	片山心菜	城北	12"66
	200m	松坂朋香	矢作	28"00
	800m	小嶋聖来	六美北	新 2'17"76
	1500m	壁谷衿奈	竜海	4'51"57
	100mH	林美希	翔南	新 14"32
	4×100mR	河合・吉見・成瀬・河原崎	美川	52"54
	走高跳	小林真綾	六美北	1m48
	走幅跳	工藤千愛	常磐	4m66
砲丸投	大矢夏寧	葵	9m52	

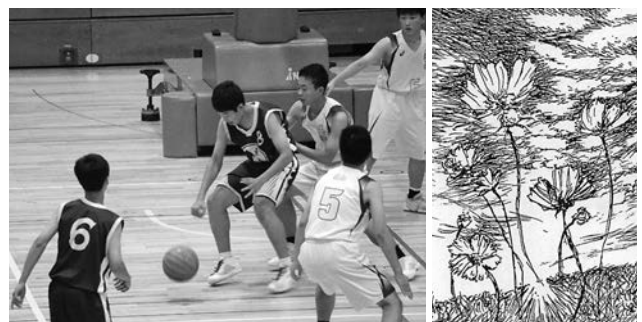
新…大会新記録

【上記以外で新記録もしくはタイ記録を出した者】

性	種目	氏名	校名	記録
男子	3000m	熱海琢人	六ツ美	9'12"72
	3000m	辻陽介	矢作北	9'14"99

●水泳競技(個人成績・1位のみ)

性	種目	氏名	校名	記録
男子	50m自由形	脇岡昌輝	新香山	26"63
	100m自由形	齊藤優太	矢作	1'01"30
	200m自由形	加藤晴陽	甲山	2'06"36
	50m平泳ぎ	井下慶人	翔南	34"06
	100m平泳ぎ	倉橋駿斗	葵	1'07"21
	50mバタフライ	前澤直弥	北	28"85
	100mバタフライ	山本武蔵	北	1'03"37
	50m背泳ぎ	五十嵐誉	六美北	35"03
	100m背泳ぎ	森湊斗	六ツ美	1'21"61
	200m個人メドレー	岩村航佑	六美北	2'14"84
女子	4×100mR	小倉・小川・前澤・山本	北	4'07"34
	4×100mメドレーR	前澤・小川・山本・小倉	北	4'34"06
	50m自由形	山口夏果	東海	31"62
	100m自由形	矢島ゆら	六美北	1'20"84
	200m自由形	和田佳奈子	葵	2'16"72
	50m平泳ぎ	酒井彩希	竜海	42"00
	100m平泳ぎ	田村涼乃	矢作	1'19"11
	50mバタフライ	野中真帆	六美北	33"77
	100mバタフライ	小川菜月	矢作	1'11"55
	50m背泳ぎ	菅原結奈	城北	34"04
100m背泳ぎ	安藤叶彩	矢作北	1'17"35	
200m個人メドレー	内山遥陽	六美北	2'35"96	
4×100mR	三井・伊藤・田村・小川	矢作	4'45"34	
4×100mメドレーR	伊藤・田村・小川・三井	矢作	5'11"07	



・カ  
ツ  
ト  
  
矢  
作  
中  
深  
津  
勝  
巳

# 第 1 回 卒 園 式 (大正 12 年)

写真提供：広幡こども園

本園の第一回卒園式は、園児七十名が、着  
物に園服姿で迎えた。今の園舎ではなく、小  
学校の木造校舎を借りての卒園式だった。

新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言に伴  
い、休園となった頃、近隣の方から、家庭に  
あった幼稚園五十周年記念の冊子をいただいた。  
また、卒園記念に植樹したタイサンボク  
を気に掛けて来園してくださる方、感染症を  
心配して声を掛けてくださる方もいた。園が  
卒園生の長い歴史に支えられていること、卒  
園生にとっても園が心の支えになっているこ  
とを感じる。

こども園や小中学校は、地域のコミュニティ  
の核である。時代の求めるものを考えながら  
地域と連携し、よりよい教育にまい進する姿  
は、いつの時代も不易である。



ときめきを大切に。やりたいと  
思ったら、すぐに実行する。その  
熱い気持ち、認知症の方の生きがいとなっ  
ており、周りの人々の心も動かす。  
困っていたら、すぐに手を差し伸べるので  
はなく、まずは自身で考えることを大切にし、  
見守る。その姿勢は、教育と同じである。

## と ホ

## 長 目 ツ

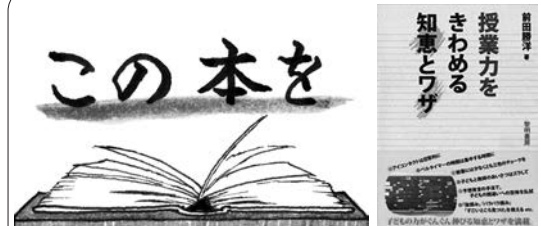


▲お年寄りとふれあう会

捕獲する、被害を防ぐ、活用する……。  
私たち人間の営みは、少なからず自然に影響  
を与えている。

自然との共生は、難しい課題である。時代  
や環境は変化し続ける。未来を創る子供たちに、  
自ら考える力をつけるために、私た  
ちにできることを模索したい。

束の間の夏休みが明け、たくさんの笑顔が  
学校に戻ってきた。感染症対策は続き、いつ  
も通りとはいかないことが多い中でも、笑顔  
があふれる学校のすばらしさは変わらない。  
まだ暑さの残る校庭で、一年後の夏を目指  
して汗を流す子供たち。その姿を  
応援せずにはいられない。



\* 授業力をきわめる知恵とワザ 前田 勝洋  
黎明書房 ￥2,000

心に残った一文  
子ども主導の教育活動はあり得ない。あくまで教師主導によって、子ども主体の授業を成立させることができる。

本書は私の「バイブル」とも言える存在である。若き担任時代から著者の前田先生から薫陶を受けてきたが、そのエッセンスが集約されたものである。

タイトルは「授業力をきわめる」とあるが、内容は学級経営・学習規律・教師としての心得など多岐にわたる。今は校長として、この「前田理論」を核に学校運営を行っている。管理職・役職はじめ、新任からベテラン教師まで多くの先生方に読んでいただき、実践してほしい珠玉の一冊である。

- \* 21Lessons - 21世紀の人類のための21の思考 - ユヴァル・ノア・ハラリ 河出書房新社 ￥2,640
  - \* 教師崩壊 先生の数が足りない 妹尾 昌俊 PHP新書 ￥960
  - \* なぜあの学校は危機対応を間違えたのか 石川 慶子 教育開発研究所 ￥2,200
- 六名小 坂元 千城